東京都港区浜松町二丁目３番８号
WTC annex 7 階
株式会社ＬＴＴバイオファーマ

News & Information

2025/5/13

〔量子科学技術研究開発機構との共同研究に関する論文発表のお知らせ〕

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構と当社は、当社開発製剤である PC-SOD（LT-1001）に関する共同研究を進めて参りました（2022 年 8 月 31 日および 2024 年 5 月 30 日付 IR 参照）。今般、この研究成果が国際科学雑誌 「Molecules」に公開されましたのでお知らせいたします。本共同研究ではマウス体内において炎症反応の際に放出される活性酸素を PC-SOD が消去すること、またその効果はレシチン化していない SOD より長く続くことを明らかにしました。

記

論文タイトル

『An Electron Paramagnetic Resonance Study of the Superoxide-Scavenging and Redox-Modulating Effects of Lecithinized Superoxide Dismutase in the Bloodstream』

著者（下線は弊社社員・役員）

Dessislava Lazarova, Plamen Getsov, Rumiana Bakalova, Biliana Nikolova, Severina Semkova, Zhivko Zhelev, Zhiwei Qiao, Tomohiro Ishikawa, Koichiro Fukuda, Kensuke Osada, Milka Mileva, Tohru Mizushima and Ichio Aoki

掲載誌

国際科学雑誌「Molecules」2025 年 4 月 23 日 オンライン版

（*Molecules* 2025, 30(9), 1882; https://doi.org/10.3390/molecules30091882）

培養細胞を用いた実験において、PC-SOD が活性酸素を消去することはこれまでにも報告してきましたが、今回の共同研究により、生体内においても PC-SOD が活性酸素消去能を有すること、またその効果はレシチン化により長く続くことを示すことが出来ました。この成果をもとにさらに PC-SOD に関する研究を進めて参りたいと思います。

以上